

2006. 3月号
平成 18年 3月 10日発行

発行元 NPO法人陽だまり
発行元住所 〒739-0043
東広島市西条西本町 27-37 高貴ビル 201

主な記事 平成 18年度移送サービスについて
事務局だより／ヘルパー紹介
寄稿:「孤独」ということ

平成十八年度

移送サービスについて

(報告)

一部新聞報道にありましたように、東広島市が、福祉目的の移送サービスができるように「セダン特区」の申請を国に行うことになり、二月中旬に市から「承認基準」が示されました。それによると、移送サービスを利用できるのは、「単独で公共交通機関を利用することができない人」で、事前に運営委員会の承認を得ることが必要となります。該当する会員の方にはすでに案内を送らせていただきました。

- 「利用登録に必要な書類」
- ① 介護保険証・身体障害者手帳など
(単独で公共交通機関を利用できないことを証明するもの)
 - ② 個人情報使用同意書

今後は、陽だまりが市に必要な書類を提出し、市が四月に間に合うように手続きを進めることになっています。



新たに利用を希望する方の取り扱いについては、今後市とつめていくこととなります。

多くの方のご協力のおかげで、移送サービスを継続できることになりました。四月からは運営協議会のルールで行うため、これまで通りには、みなさまのご要望にお応えできないことも出てくると思われれます。せつかく手に入れたサービス。守っていくためにも、ご理解とご協力をよろしく願います！

【H18.利用料金一覧】(予定)

基本	走行距	NPO法人陽だまり	
		自家用	陽だまり号
1Hまで 800円	～5k	80円	250円
	5.1k～	160円	500円
	10.1k～15k	240円	750円
以後 15分毎	15.1k～20k	320円	1000円
	20.1k～25k	400円	1250円
	25.1k～30k	480円	1500円
200円 増	30.1k～35k	560円	1750円
	35.1～40k	640円	2000円
	40.1k～45k	720円	2250円
	45.1k～50k	800円	2500円

事務局だより

◆ 会員更新と平成十八年度総会開催について

会員のみなさまに案内を送付いたしますが、分からないこと等ありましたら、事務局にお問い合わせください。

なお、総会は五月十四日(日)に開催予定です。欠席される会員の方は、委任状の返信(はがき)をお忘れなく！

山本 陽子

モットー： 明るく、楽しく。

嫌なことは、寝たら忘れること

趣味： ビーチバレー・テニス
ウォーキング

特技： 短時間集中料理
誰とでも話せること

池田 直美

モットー： いつも心に夢と希望を
持ち続けたい

趣味： スポーツを観ること

前原 裕子

私が思うこと

この仕事に携わって、日々思うことはヘルパーとしての知識も技術も大切ですが、その前に利用者の方に安心感と親しみを抱いてくださることが第1歩だと思えるようになりました。その為には、どのようにしたらよいのか、頭におきながらヘルパーとしてがんばっていかうと思います。

坪島 操子

私のPR： 年を重ねたことで我慢強い事
いろいろな人ともお付き合い
できる

目標： 心身共に健康で、この仕事が
できるように・・・

モットー： 空気のように相手の心に
寄り添い安らぎの気持ちや
元気をだしてもらえるように・・・

趣味： 編み物・ボビンレース

禎田 香織

目標： 「笑顔で挨拶」

趣味： スポーツ・トールペイント

特技： バドミントン

佐伯 千代

モットー： 「毎日笑顔ですごす事」

趣味： 編み物

柴田 喜代子

モットー： 「いつも プラス思考」

趣味： 旅行

特技： 卓球

神田 悦子

私のPR

よく食べ

よく笑い

よくしゃべること

ヘルパー紹介

陽だまり



寺内 あけみ

私の PR：腕力には自信あり

モットー：「子供はのびのび・

大人は健やかに」

趣味：読書・筋トレ

目標：目指せ・漢字検定2級合格

岡本 浩子

まじめすぎるので事務所命令

今年の目標：ええ加減にすること

マイブーム：酒かす

山本 三千代

目標：利用者の方が安心して暮らせるよう、お手伝いしていきたい

趣味：韓国ドラマを見ること

ウォーキング

特技：何時間でも寝れること

岡本 悦子

私の PR：すべての事に前向きで
興味津々

モットー：お互い良い出会いと
なるように

趣味：パンフラワー・編み物・陶芸

荒滝 弘子

モットー：「心のふれあいを大切に」

趣味：ビーズ作り

佐々木 政美

今年の目標：健康でいたい～

特技：休日は10時間睡眠

H18年度も 陽だまりヘルパーを
よろしく申し上げます

長廻 弘美

モットー：「為せば成る」

趣味：卓球

(運動不足なので気分転換に
やっています)

「孤独」ということ



年末に夫を亡くした。1年5か月の入院生活後、私たちの願いもむなしく、雪の朝、静かに旅立って行った。

失って初めて、夫が私にとってどんなに大きな存在であったか、また、かけがえのない人であったか実感している。平素、夫は空気のような存在で、常にそばにいて、これからもずっと連れ添って行けるものと信じていた。

私は63才、今時まだまだ若いといわれる年齢、目下、どことって特に悪い所はない。そんな私でさえ、いざ独りになるとみると、「孤独」が身体をすっばりとおおい、時には息苦しくさえなってくる。そんなに「孤独」とは重く、寂しく、辛いものなのである。いわんや足腰が思うように動かず、病弱な独り暮らしの人たちにとっては、その思いは一人^{ひとしお}であろう。

「孤独」はその日の天気や時間帯によっても感じ方が違うように思われる。どんより曇った日、雨の日、夜などはとりわけ身にしみる。

しかし、「孤独」が身にしみながらも、人は本当に逞しく強いと思う。夫を偲び、涙しながらも一日とて食べることを、眠ることを忘れてはいない。一時は自分の命が亡くなってしまうと、どんなに楽になれるか、と思うこともあった。美しい物を見たり、美味しい物を食べる時、自分だけが…と後ろめたい気分になることもあった。しかし少しずつ現実を受け入れ、命ある限り生きていかねば、という思いが日に日に増していくのも事実である。

長いトンネルを抜け出るまで、どのくらいかかるか分からないが、桜がほころびる頃には、心から笑えるようになりたい。喜び、



悲しみ、苦しみを互いに共感できる相手がそばにすることが、どんなに幸せで、大切であるか、実感しているこの頃である。



廣瀬 長子

<プロフィール>

ひろせながこ：NPO法人陽だまり理事、社会福祉士、東広島市民生委員児童委員

